

新専門医制度に対する帝京大学の取り組み

- 病院の基本方針としての専門医育成
- 臨床研修センターの業務拡大
- プログラム総括責任者会議の開催
- 専攻医(シニアレジデント・大学院生)
- 専門医一次募集の状況

病院の基本方針としての専門医育成

- 基本方針
 - 安心安全な高度の医療
 - 患者中心の医療
 - 地域への貢献
 - **医療人の育成**
 - 医学研究の推進

特定機能病院として
専門医育成が重要な
責務であることを
職員全体で共有

○臨床研修制度

医師としての人格の涵養と基本的な診療能力の修得

◎専門医制度

各領域の高度な医療の前提となる標準的能力の修得

臨床研修センターの業務拡大

- 臨床研修センター事務職員を2名から3名に増員し専門医制度で生じる管理業務に対応
 - 全19基本領域研修プログラムの管理
 - シニアレジデントとしての雇用の管理
 - 研修プログラム専攻医としての研修の管理
- 病院ホームページからの広報



プログラム総括責任者会議の開催

- 全19基本領域および主要なサブスペシャリティ領域のプログラム統括責任者で構成
- 主な議題
 - 日本専門医機構からの最新情報を共有
 - 全基本領域の研修プログラムの整合性を確認
 - 領域毎に学会が定めるルールの違いを共有
 - 当院の臨床研修医への情報提供
 - 各領域の応募状況の確認
 - シニアレジデント採用枠の調整

専攻医(シニアレジデント・大学院生)

- 研修プログラム専攻医の勤務形態
 - シニアレジデント 定員50名
原則、卒後3年目から4年間
連携病院は現地勤務で赴任
社会人大学院へ入学可能
 - 大学院生 定員70名
通常4年間
内1年間は研究に専念できる
連携病院で臨床経験を積む
ことも可能
 - 助手 定員枠のある診療科

専門医一次募集の状況

基本領域	採用数	基本領域	採用数
内科	15人	救急科	2人
麻酔科	8人	放射線科	2人
外科	7人	形成外科	2人
整形外科	7人	産婦人科	1人
皮膚科	6人	脳神経外科	1人
小児科	4人	泌尿器科	1人
精神科	4人		
眼科	4人		
リハビリテーション	3人	合計	67人

シニアレジデント 44人(内、社会人大学院生3人)
大学院生 13人(社会人大学院生を除く)
助手等 10人
その他、従来制度(カリキュラム制)のシニアレジデント6人